

平成29年度 熊本県公立学校事務職員協会秋季研究会報告

- 1 日 時：平成29年10月20日（金）
- 2 会 場：水前寺共済会館
- 3 参加者：125人（県立105人、義務制20人）
- 4 日程

（1）開会

熊本県公立学校事務職員協会会長挨拶（嘉悦 良吉 会長）

熊本県公立高等学校長会挨拶（副会長：湧心館高校 上妻 利博 校長）

（2）教育委員会講話

演題 「これから教育行政を担う皆さんへ」

講師 教育政策課 課長 江藤 公俊 様

教育委員会の概要や、教育委員会事務局の組織について、また、本県教育の指針である「熊本県教育大綱(平成28年12月策定)」の内容や、今後の教育行政職の課題等について話をされました。教育課題が複雑化・多様化していく中で、事務職員も積極的に学校経営へ参画すること、人員構成において多数を占める若手職員の育成、各事務職員における多様な知識の習得、等の期待を述べられました。



（3）実務研修Ⅰ

演題 「共済組合全般（各事務処理）について」

講師 教育政策課福利厚生室 課長補佐 河上 誠之 様

共済組合の概要から始まり、事務処理において気を付けて欲しい点などについて、資料をもとに説明していただきました。

（4）助成金交付式

公益財団法人日本教育公務員弘済会から、教育研究団体助成金の交付を受けました。

～昼食休憩～

（5）実務研修Ⅱ

演題 「会計事務について」

講師 会計課指導・検査班 主幹 磯部 亮 様

収入事務の重要性について、収入は県の財源となるため、速やかな事務処理が必要である、と話をされました。また、収入事務のリスク、賠償責任及び現金収納に係る注意事項について、説明していただきました。

（6）講演

演題 「セルフマネジメントのすすめ」

講師 熊本支援学校 副校長 西 雅子 様

学校事務の専門性を活かし、「チーム学校」のメンバーとして積極的に校務運営に参画す



る重要性について話をされました。また、日々の生活の中での時間の作り方、仕事と家庭のワークライフバランス等について、述べられました。

(7) 研究発表

① 「熊本地震を経験して感じたこと～未曾有の大災害を今振り返って～」

＜発表者 熊本市（西）地区研究グループ＞

昨年度発生した熊本地震から1年半を過ぎた今改めて感じたことや、今後の事務職員のために伝えたいことなどを記録的にまとめた発表でした。独自に図面を作成した学校の実践例の紹介もありました。



② 「収入事務について～スムーズな事務処理のために～」

＜発表者 天草地区研究グループ＞

収入事務について、その種類ごとに事務処理方法をまとめたマニュアルづくりを進めており、その一部について資料をもとに発表されました。3人の掛け合い形式で、真面目な内容の中にもユーモアのある発表でした。



(8) 全国大会復講

＜復講者 第二高校 主任事務職員 山本 純嘉＞

本年7月に石川県で行われた全国大会の内容について、復講がありました。

(9) 班別討議

事前に希望を取った5つのテーマに沿って班分けをし、各進行役のもと討議を行いました。時間一杯、活発な意見交換が行われました。



(10) その他

① 功労者表彰者紹介

ア 役員功労者表彰（九州協議会役員）

前 熊本工業高校 審議員 鬼塚 正文 様

第二高校 嘉悦 良吉 主任事務長

イ 勤続30年功労者表彰

熊本高校 瀬高 啓介 審議員

南稜高校 松本 博文 主任事務長

② 諸連絡

(11) 閉会

5 その他

午後6時から、水前寺共済会館において、情報交換会を開催しました。冒頭に本協会の創立70周年記念式典を行った後、開宴しました。御来賓の皆様を始め、約80人の参加のもと、盛会のうちに終了しました。

熊本県公立学校事務職員協会 事業部